



東 北 方 面

自動車會社設立認可申請

宮城縣柴田郡船岡村有志並に角田町を中心とする伊具郡有志によつて計畫されつゝあつた伊具自動車會社は、其後着々として創立事業の進展を見、殊に船岡新驛工事着手され伊具郡に通ずる縣道改修も、今や實施測量中で近く着工するばかりになつて居り、郡内町村長その他の賛同もうけてゐるのでいよいよこの會社設立の認可申請を出した。資本金は十萬圓として行路は柴田

郡船岡驛を起點として伊具郡北郷村、櫻村角田町、館矢間村、丸森町、金山町を経て相馬郡塚である大内村を伊具縦貫線である賃金は船岡、角田間五拾錢、角田、金山間五拾錢の見當である。

仙臺道路の交通狀況調査

仙臺鹽釜間の自動車道路として牛塚知事が大いに力を入れてる仙臺道路は、改修前の昨年九月頃までは通行人も疎らであつたが改修後同道路の利用を宣傳した結果、利用者非常に多くなり中には汽車電車を捨て、自動車による仙臺道路のドライブを試

みるものも少くない有様である、縣に於いては同道路の交通状態の實際を調査して參考に資すべく九月六七兩日午前四時から午後十時までの交通調査を行つたが七日の交通は

歩行者九百八十二人、荷馬車二百四十六臺、荷車百七十六臺、貨物自動車七十臺、乗用自動車十九臺、自轉車四百六十二臺といふ交通状態であつた。

自動車に壊されて

行く田舎道

自動車の發達と共に不完全なる田舎道の壊されて行くことは何人も目撃するところであるが、殊に非道いのは宮城縣桃生郡鹿又飯野川間、飯野川相野田間の道路である自動車は轍も没するほど掘れた自然軌道の中を曲乘の様に上下左右の振動を續けて走り乗客は命がけて、その破壊の程度は言語に絶し自轉車の危険はいふまでもなく徒歩

通行人の迷惑ははかり知れぬものあり、これがため自動車を通る毎に人々は怨聲を放つてゐる程で地方民は當局の對應施設の急を叫んでゐるが當局者は少しも耳を藉さぬので非難の聲が高い。

北陸方面

政友會所屬調査委員

道路實地踏査

政友會新潟縣支部では、過般第二回調査會に知事より提出せられたる諮問案並に政友會側委員より提出して可決されたる建議案に關する調査を遂げ、これが答申案を作成して近日中に開催される、第三回道路調査會に臨むこととなり、これが基本資料を得るため、政友會所屬道路調査委員全部を動かして、之を八班に別け、縣下道路を親しく實地踏査をなすことになつたが、これが出發に先だち調査方針を協議すべく八

月十二日午後一時から打合會を開催した。定刻山際黨務副委員長議長席につき、開會の挨拶を述べ引續き道路調査實施にあたる方針として「本縣道路網の完全を期せんとして、我々が創設以來努力を盡して來た道路調査會は、愈々第三回調査會に提出される諮問案の答申によつて結果が決せられやうとしてゐる、これに對し我黨は直接本縣の道路の實際を親しく諸君から調査を願ひ眞に産業開發縣民の福利増進の立場に立脚して案をねつて答申したい、諮問案と云はず、建議案といはず、その一本一道と雖も諸君は有意義にして極めて親切に調査を遂げられ、以て有終の美を以て道路調査會の實をあげんことを切望する」と述べ尙要項として左の五項目を打合せた。

- 一 實地踏査隊は八班に別れ短きは五日、長きは七日であるが、その日程はその地方選出の縣會議員調査委員と各班員と打合決定をなすこと
- 二 なるべく速に各班で成案を得て縣支部へ提出すること
- 三 近日中に縣會議員道路調査委員の合同協議會を開き最後の打合をなすこと
- 四 縣へは近日中第三回調査會を開會してくれるやう要求すること
- 五 調査中は地方の饗宴歡迎會等は一切謝絶し只管時局の善用と能率の増進をばか

新潟縣下道路改修實施希望

政友會新潟縣支部幹部並に政友會側道路調査委員、黨有力者の縣下道路實地踏査方針打合協議會の席上に於て、各委員共隔意なき懇談を遂げ調査方針を打合せた。道路改修實施にあつたつての希望としては、大體左の如き意見に一致を見た。

巨額の費用を支出して長期間にわたりに漸く一線二線の道路を改修するよりも少額の支出を以て地方民に直接福利を與へ